

1 趣 旨

本事業は、グローバル推進本部国際戦略室（以下、国際戦略室）が構築した海外とのネットワークを活用し、協定締結校等における海外短期派遣を実施、派遣学生を支援する。優秀な学生の海外研修を支援することにより、本学の世界を視野に入れた教育・国際水準の研究機会を充実させ、国際的視野を持った優秀な人材の育成及び輩出、本学の国際競争力の一層の向上を図る。

2 事業概要

本学と交流協定を締結しており、密接な交流関係を築いているローズハルマン工科大学（アメリカ、インディアナ州）で3週間程度の研修を行う学生に対し、研修費用の一部を支援する。また、この研修に参加することで、短期留学科目 EG101: English for Global Experience Gateway(RHIT)の2単位を与える。

3 研修内容

- (1) ローズハルマン工科大学にて授業聴講
- (2) 学生寮にて現地学生と共同生活

4 募集人数

10名程度

5 派遣期間（予定）

2019年3月3日（日）～ 3月24日（日）日本着

6 応募資格及び要件

- (1) 本事業の対象者は、日本人学生に限る。
- (2) 2018年度において、本学の学部1年生～3年生で、学業及び研究成績が優秀なこと。また、応募するにあたり、短期留学科目 EG101: English for Global Experience Gateway(RHIT)の履修を必須とし、与えられた課題を適切に行い、ローズハルマン工科大学にて3週間の海外研修を終えた者には2単位を付与する。なお、学部4年生、大学院生の参加は不可とする。
- (3) TOEFL、TOEIC、IELTS、実用英語技能検定等の語学試験（本学で実施している TOEIC IP テスト含む）を受験していること。
- (4) 心身ともに派遣先における学業・生活に支障がないこと。
- (5) 研修の成果を本学及び地域における国際交流活動等に積極的に還元しようという意欲があること。
- (6) 採用された学生には、本事業の研修内容向上のために研修に関する調査・アンケートなどを依頼する。指定された期日を厳守し回答すること。
- (7) ローズハルマン工科大学における授業聴講は必須であり、派遣先が提供するプログラムやイベント等には必ず参加すること。止むを得ず欠席する場合は、事前に派遣先のコーディネータ等に相談すること。
- (8) 短期留学科目 EG101: English for Global Experience Gateway (RHIT)における派遣先での課題は指定された期日を厳守し提出すること。
- (9) 証拠書類の提出やスピーキングテストを実施するため、帰国後直ぐに会津若松に戻り対応すること。
- (10) 帰国後、報告書を指定された期日までに提出すること。報告書はホームページ等に掲載する。
なお、求められた提出物を期日までに提出しない場合、単位認定が授与されないので注意すること。
- (11) 帰国後に開催する発表会で、学習・研究成果や交流活動等について発表すること。
- (12) 本学からの助成金の他に日本学生支援機構の奨学金(8万円)を希望する場合、以下の要件を満た

す必要がある。

- ・家族の世帯収入が日本学生支援機構の基準に合致すること。(別紙参照)
大学にて確認するため、採用が決定次第、速やかに所得証明書を提出すること。
- ・日本学生支援機構の独自の算出方法による成績基準を満たすこと。(別紙参照)
成績基準の算出については、表中のパターン2で換算すること(D・Fは0ポイントとなる)。
- ・帰国後に求められる報告書や調査は必ず期限を厳守し提出すること。提出が遅れた場合、奨学金の返納が求められる場合があるので注意すること。

- (13) 二次選考(面接)に通過しなかった申請者で上記要件を満たす場合に限り、ワイカト大学における海外短期派遣支援事業の参加を認める(原則、私費での参加とする)。
- (14) アメリカ合衆国内の大学に留学する場合には、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹の免疫を有する書類の提出が求められるため、母子手帳の写し(カラー)を提出すること。また、これまでの予防接種の実施状況により、現地で追加の予防接種を受けるよう指示される場合がある。(予防接種費用は自己負担とする)

7 支援対象費用

次に定める費用について予算の範囲内で支援する。なお、採用内定日より前、あるいは2019年3月24日(帰国予定日)より後に係る費用は支援対象とならないので注意すること。

- (1) 交通費・滞在費
- ・本学の旅費規程により算出した交通費(航空運賃はエコノミークラス)
※滞在費は、ローズハルマン工科大学側で寮費を負担。
- (2) 海外旅行保険料
- ・学生教育研究災害傷害保険(学研災)付帯の海外留学保険に加入必須。(加入手続きは大学の指示のもと行うこと)
- (3) 査証申請費用(※ESTA申請費用)
- ※ESTAとは:米国に短期商用・観光等の90日以内の滞在目的で旅行する場合、査証(ビザ)は免除されているが、米国行きの航空機や船に搭乗する前にオンラインで受ける渡航認証のこと。

8 支援対象外費用

- (1) 海外留学期間中の危機管理対策として、海外留学安全対策協議会(JCSOS)の保険への加入
- (2) TOEIC® Speaking Test 受験料
賛助会員受験料2回分(10,180円)。ただし、成績優秀者には、スキルアップ奨励金が与えられる。
- (3) 派遣先大学におけるプログラム費、リネン費・エクスカージョン費等の雑費(約50,000円)
- (4) 派遣先大学における医療保険及び予防接種にかかる費用
- (5) 生活費(食費、お土産、現地での交通費等)
- (6) 教材費

9 支援額及び支払い

予算の範囲内で「支援予定額」を採用者ごとに決定し、支援額通知書にて採用者に通知する。出発前に「支援予定額」を採用者に通知し、帰国後に短期留学科目EG101: English for Global Experience Gateway(RHIT)の課題提出状況、証拠書類を確認して「支援確定額」を決定し、採用者に支払う。支援対象費用に係る領収書や航空券等の証拠書類を必ず保管し、帰国後速やかに提出すること。証拠書類がない費用については支援しない場合があるので注意すること。(ただし、国内交通費の領収書は不要。)

10 申請方法

本事業に応募する学生は、グローバル推進本部国際戦略室(研究棟1階123)に次の応募書類を提出すること。

早期募集締切:2018年8月31日(金)午後5時

最終募集締切：2018年10月19日（金）午後5時

なお、早期募集に応募した学生については、選考の際一定の評価を与えることとする。

【申請書類】

- ・申請書一式（国際戦略室にて配布）
- ・教員推薦書（※封をしたもの）
- ・語学能力試験の証明書写し

- ※ 教員推薦書は指導教員でなくても可。ただし、学力や成績等について意見を求めることの出来る教員に依頼すること。臨時教員は不可。教員推薦書が入手不可能な場合には、事前に国際戦略室にその旨を知らせること。
- ※ 授業の履修登録については、採用者決定後に国際戦略室が事務手続きをする。

1.1 選考及び結果通知

選考及び結果通知は次により行う。

- (1) 申請書類及び成績証明書を参考に、グローバル推進本部及び語学研究センター等が一次選考（書類審査）を行い、その結果を申請者に通知する。
- (2) グローバル推進本部及び語学研究センター等による一次選考通過者への二次選考（英語による面接）を行う。
- (3) 二次選考結果を一次選考通過者に通知する（採用者の内定）。
- (4) 国際戦略室が採用内定者を学長に提出し、学長が採用者を決定し、採用通知書にて採用者に通知する。

1.2 派遣決定の取り消し、研修の中止、及び支援額の返納について

本事業の期間中に次のいずれかに該当する事態が生じたときは、採用決定の取り消しまたは研修の中止を行うことがある。この場合、支援額の全部又は一部の返納を求める場合がある。

- (1) 申請事項に虚偽が発見されたとき
- (2) 本学または派遣先において、懲戒処分等を受けたとき
- (3) 本学を退学したとき
- (4) 安全確保の困難などやむを得ない事情により、本学が研修中止と判断したとき
- (5) 自身の都合で採用を辞退するとき（辞退手続きに係る諸費用、支払済の費用は原則自己負担）
- (6) 短期留学科目 EG101: English for Global Experience Gateway (RHIT)の課題の提出を怠った、若しくは現地での授業、プログラム、及びイベントに正当な理由なく欠席したとき
- (7) 短期留学科目 EG101:English for Global Experience Gateway(RHIT)の単位を取得できなかったとき

1.3 問い合わせ先

会津大学 グローバル推進本部 国際戦略室

オフィス：研究棟1階 123号室（月）～（金）9時～17時15分

e-mail: osip-global@u-aizu.ac.jp

Tel : 0242-37-2761

[家計基準]

世帯人数	通学形態	給与所得(注1) <収入金額>	給与所得以外(注2) <所得金額>
3人	自宅	1,012万円以下	604万円以下
	自宅以外	1,059万円以下	651万円以下
4人	自宅	1,096万円以下	688万円以下
	自宅以外	1,143万円以下	735万円以下
5人	自宅	1,314万円以下	906万円以下
	自宅以外	1,408万円以下	1,000万円以下

(注1) 給与所得者：源泉徴収票の支払金額 (注2) 給与所得以外：確定申告書等の所得金額

[渡航支援金]

平成 30 年度より、経済的に困窮した留学希望者が一定の家計基準を満たした場合に、渡航等に必要
な費用を支援することを目的とし、「渡航支援金」を支給します。国際戦略室に事前に要相談のこと。

(1) 渡航支援金の支給基準

ア. 家計基準 家計支持者の所得金額(父母共働きの場合は父母の合算額)が次の金額である者。

給与所得のみの世帯	年間収入金額(税込)が 300 万円以下
給与所得以外の所得を含む世帯	年間所得金額(必要経費等控除後) 200 万円以下

注1) 本制度では、家族構成や在籍大学等の学種・設置形態を問わず、次に指定する必要書類の提出により、
上述の家計基準を満たすことを証明できる全派遣学生に渡航支援金を支給します。

注2) 本制度では、独立生計者と認定(書類により証明)できない場合には、家計支持者の扶養親族とみな
します。

イ. 家計支持者の所得を証明する書類(平成 29 年(申請年度の前年)の所得金額)

①給与所得者	源泉徴収票の写し *源泉徴収票の「支払金額」欄を確認する
②給与所得以外	確定申告書(第一表と第二表)(控)の写し *確定申告書(控)の「所得金額」欄を確認する
③平成 29 年中の所得がない場合	市町村役場発行の所得証明書(コピー可)
④独立生計者の場合 *独立生計者であることの証明を必ず確認し てください。詳細は問合せください。	市町村役場発行の所得証明書(コピー可) *配偶者があるときには配偶者分も含む

注1) 家計支持者について、父母がいる場合は父母双方、父母がいずれかの場合はその片方、父母が
いない場合は家計を支えている者が該当します。父母がいる場合は、所得の有無を問わず父母双方の
書類を提出してください。

※[成績基準]については、裏面を参考に成績評価係数を算出してください。

[成績基準]

在籍大学等における学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、在籍大学等における選考時の前年度の成績評価係数（以下の[成績評価係数の算出方法例]をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数点第3位を四捨五入して算出する。）が3.0点満点で2.30以上であること。前年度の成績がない場合は、選考時の前学期分の成績から算出するものとする。

[成績評価係数の算出方法例]

下記の表（パターン2）により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価					
4段階評価 (パターン1)	—	優	良	可	不可
4段階評価 (パターン2)	—	A	B	C	F
4段階評価 (パターン3)	—	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価 (パターン4)	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価 (パターン5)	S	A	B	C	F
5段階評価 (パターン6)	A	B	C	D	F
成績評価 ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

(日本学生支援機構 平成30年度海外留学支援制度(協定派遣)事務手続きの手引きより抜粋)